楽しく自然に文が書ける！

文作はかせ ❷

〈はじめに〉

このテキストは、みなさんに「文を書くことがどんなに楽しいことか」を知ってもらうために作られました。

人はみな考え方がちがい、だれもがおもしろいことを思いつく力をもっています。小学生であるみなさんは、大人よりも頭がやわらかくて、楽しいことや、すてきなことを考える力をとても強く持っています。

このテキストの使い方として、まず、ゲームやパズルに挑戦し、たくさんのことばを覚えてください。次に短い文を作ることで、文作りの楽しみを実感してください。最後のコーナーでは、文章を組み立てる方法を学んでください。

これらの学習の中で、みなさんは自由に好きなことを考え、どんどん思いついたことを書いてください。みなさんが書いたことについて、「よい」「悪い」はまったくありません。すべてみなさん自身のすてきな考えなのです。

でも文を作るときに、一つだけ次の点に注意してください。それは、**「読む人の気分が悪くなるようなことは書かない」**ということです。

具体的には次の二つです。

①「人や動物を殺す」「人や動物を傷つける」というような残酷なことは書かない。

② 汚いことや、はずかしいようなことは書かない。

この約束だけは守り、読む人の気持ちを明るく楽しくさせるような文を作ってください。

文章には人を感動させたり、人を笑わせたり、人を泣かせたりすることができる、すごい力があります。

また、みなさんはこのテキストで学んでいくうちに、日本語はとても美しく、世界に誇ることができる素晴らしいことばだということに気がつくでしょう。

そんな新しい発見を楽しみにしながら、ぜひ文作りの面白さを味わってください。

目次

第1ゲート……2
第2ゲート……8
第3ゲート……14
第4ゲート……20
第5ゲート……26
第6ゲート……32
第7ゲート……38
第8ゲート……44

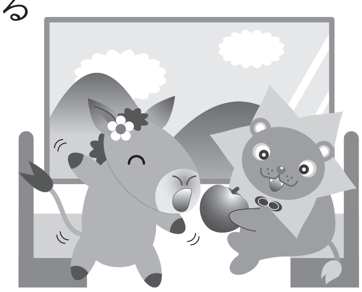
②

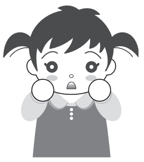
1 あいうえお作文

例にならって、「らりるれろ」で始まることばで、自由に文を作ってみましょう。

【例】

ら　**ら**いおんが
り　**り**んごを手にして
る　**る**んるん気分で
れ　**れ**っしゃに乗っているよ
ろ　**ろ**ばもいっしょに踊ってる





右は私が作った例よ。

あなたはここにおもしろい文を書いてね。

ら　〔ら　　　　〕
り　〔り　　　　〕
る　〔る　　　　〕
れ　〔れ　　　　〕
ろ　〔ろ　　　　〕

2 キーワード文作り

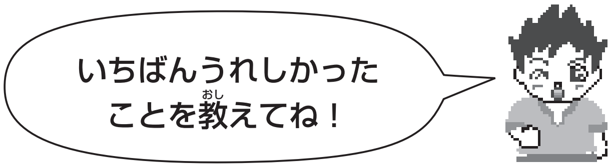
次のことばを使った、文を書いてみましょう。

❶ 〔学校　　　　〕
❷ 〔体育　　　　〕
❸ 〔音楽　　　　〕
❹ 〔先生　　　　〕

③ うれしかったことを書いてみましょう

◇今回は、これまでにあった出来事で「いちばんうれしかったこと」をテーマにして作文を書いてみましょう。

◆**次の作文を読んでください。**



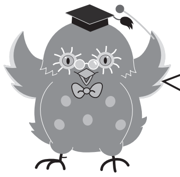
『優勝のゴール』

ぼくがこれまででいちばんうれしかったことは、市の少年サッカー大会で優勝したことです。ぼくたちレッドファイアーは、決勝でホワイトアイスと戦いました。

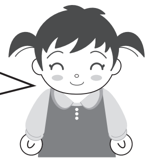
0対0でむかえた後半の、十五分くらいを過ぎたときのことです。フォワードのぼくの目の前に、味方のあげたボールが飛んできました。ぼくは思い切りジャンプして相手のバックスをかわし、ヘッディングをしました。そのボールが、見事にゴールにつきささったのです。その得点でぼくたちは優勝しました。そして、市でナンバーワンのサッカーチームになったのです。

人は、うれしいことや楽しいこと、悲しいことなどを毎日感じながら生きています。自分の気持ちを文章で書くことは難しいですが、そのときにどんなことがあったのか、なぜ自分がそう感じたのかを思い出して、書くようにするといいですよ。

1 あなたが「うれしかった」と感じた出来事を三つ書いてください。



うきうき作文パラダイス



2 その三つのなかで、いちばんうれしかった出来事を一つ選んで、いつ、どこで、どんなことがあったのか、その内容を書いてみましょう。

❶ それはいつのことですか。

❷ それはどこで起きましたか。

❸ どんなことがありましたか。

3 これまでのメモを見ながら、うれしかったことを人に伝える作文を書いてみましょう。

タイトル『　』